

瀬戸内みらい会議（子育て関係）

平成 21 年 11 月 15 日（日）9 時～11 時

瀬戸内市役所 3 階 全員協議会室

参加者：市内保育園・幼稚園・小学校・中学校 PTA、親子クラブ、読み聞かせボランティアから男性 3 名、女性 19 名

市民から出た意見と市長の反応

テーマ：安心して子どもを産み育てることができるまちの実現のために必要なもの

- ・週 1 回の妊婦検診の費用は保険がきかないため、必ず 5 千円以上かかる。自分が出産した時には市の母子手帳についていた無料券が 4 枚あったが、足りない。もっと枚数を増やしてほしい。
- ・無料券が 2 枚だった時期もある。まだ良くなったほうとも思えるが、自分の孫のためにもいい意見をもっと出してほしい。
- ・読み聞かせの会も無かった。無いから自分たちでやろうと思ってはじめた。
(市長) 徐々に良くなっているが、まだ改善の余地はある。岡山市に住んでいて、家を新しく建てる際の選択肢として瀬戸内市も考えてもらえるようにしたい。
- ・市内に産科が無い。近くにあれば安心して出産できる。自分の場合、まわりの人にいいところを聞いて、遠くの病院に行ったが、遠いと陣痛が始まった時など我慢しなくてはならない。
- ・子ども 2 人が子育て支援センターにお世話になった。一宮に住んでいた時には週 1 回程度だったが、毎日センターに預けられるのがよい。
- ・牛窓のセンターに邑久や長船の人が来ている。邑久や長船の保育園では先生の数が足りなくて一時保育を断られることがあるので牛窓に来ている、とのことだった。子どもの多い地域には先生を増やしてゆとりを持たせてほしい。預ける方も安心できる。
- ・定員いっぱいのため、途中入所の場合に、兄弟で別の保育園に預けているケースもある。子どもにとって転園は環境が変わるので不安がることもある。何とか同じ園に入所できるようにしてほしい。
- ・毎年 12 月に次年度の保育園入所申込みが締め切られる。1 月に生まれた子は途中入所の手続きになるが、0 歳児は福田保育園では空きが無いため、他の保育園に入所させるしかなかった。兄弟で違う保育園に預けているが、福田保育園は正職員の保育士が少なく、余裕が無いように見えた。別に通わせるこ

とになった保育園は先生がいきいきしていたこともあって、バス代が余計にかかるが、今も通わせている。保育は本来公がやるべきことではないか。

- ・ 保育園の先生に話を聞くと、人が足りないと言われる。パートの保育士さんに負担がかかりすぎている。採用についてよく考えてほしい。赤磐市の保育園は私立であることもあり、保育士の人数が多く、他の人をカバーしあいながら保育ができています。

(市長) 市から民間保育園にもお金を出している。保育をやるべき主体についてはいろいろな意見があると思う。長船は子どもが多く大変と聞く。定数を増やすことなども含め、対応を考えたい。

テーマ：保育料や医療費の負担感

- ・ 幼稚園の保育料が値上がりして 5 千円になった。給食費とあわせて 1 万円を超える。負担感は強い。

(総務学務課長) 他市と比べて安いということ、また収入確保の観点から、値上げをさせていただいた。短期的には値下げは考えていない。

(市長) 2 人、3 人となると負担感はさらに大きくなるか。

- ・ 高いと思う。保育園の保育料は収入で変わるが、転職などで収入が減った場合、負担感が大きいと感じる。保育園から幼稚園にかわって、延長保育などを利用して働くことを考えている。送迎が車でできないと働きに出るのも厳しい。

(市長) 保育料は所得で差をつけているが、やりくりが厳しいか。

- ・ 周囲では 3 人目を産もうと思わない人が多い。2 人の子どもが小学校に上がって、働きに出ようと思った際に 3 人目ができた人がいるが、結果働けなくなってしまい、3 人目が 3 歳になるまでの収入が減って、やりくりが厳しくなる。

(市長) 負担をいかに減らすか、家計全体の負担ともあわせて考えたい。

テーマ：子どもの健康・医療

- ・ 岡山市内でフルタイム勤務をしているが、子どもが病気になっても休みにくい。また預かってくれるところが一心堂病院くらいしかない。

(市長) 牛窓にはあるが、邑久や長船にあったほうがよいかな。

- ・ 同じく働いているが、子どもが病気になった時にはおじいちゃん、おばあちゃんにみてもらっている。病児保育はあった方がいい。
- ・ 預けたことは無いが、いつもの保育園ではないところに預けるのは子どもが不安がったりしないか心配。ちゃんと休みが取れる職場環境をつくっていくことが必要と思う。

(市長) 市としては、今は市内に一つだけあるが、他の地域につくったときに利用してくれるのだろうか、という思いがある。

- ・ 赤磐市の保育園では病児保育をしている。看護師を常駐させて、同じ園内の

別の建物でみる形式をとっている。保護者にとっても預けやすいのではないと思う。今後、保育園での病児保育は不可欠だと思う。

- ・医療保育士の資格を持つ人がいれば、病児がいないときには保育士として仕事をしてもらえるのでいいと思う。本来親がみてあげるのが一番であるが、子どもが慣れた施設でみてあげるのが現実的にいいところだと思う。久米町でも取り組んでいると聞く。

テーマ：子どもの少ない園について 統廃合についても

- ・裳掛児童館に子どもを預けている。3～6 歳児、全部あわせて 19 人という数は少ないと思ったし、不安もあったが、先生の工夫でいろんなことにチャレンジをさせていただいているようで、今は少ないのもいい、と思っている。
- ・牛窓東幼稚園は 22 人、西はもっと少ないと聞いている。個人的には統廃合はいいと思っている。子ども同士も人数が少ないと寂しいと思う。もっと子どもは大人数でわいわい遊ばせて育てるべき。ただ、校舎などの施設についてはどうするのか。
- ・牛窓の幼稚園では人数が 1 桁の学年がある。大勢の中で育てた方が子どもにとっても楽しいことが多いと思う。月一回でも牛窓全部の幼稚園が集まって遊べる機会をつくることはできないか。

テーマ：施設の安全性

- ・長船東保育園では、昔はホールで発表会をしていたが、子どもの数が多すぎてホールが狭いため、2 日に分けて発表会をしている。
- ・長船西保育園もクラスを分けて発表会をしている。会場がとても狭いため、行幸小学校の体育館が使えたらみんな一緒に発表会ができていいと思う。
→初めての会場だと子どもが不安になるかもしれない。道具の運搬など先生の負担も大きくなると思う。借りるのは特に問題はないと思うが、練習ができないのもネックになると思う。

(市長) ホール保育をなくす方が先かと思う。

テーマ：その他保育に関すること

- ・防犯体制、特に園の不審者対策がとれていないように思う。男性の保育士さんがいてくれたら、と思うことがある。
- ・あいあい保育園では、警察 OB の方による講習や訓練を行っている。防犯カメラも設置している。
- ・美和幼稚園でも警察と連携して訓練をしている。

(市長) 安全対策は都内の園などと比べると弱いと思う。警備員の常駐やカメラの設置など、都会の保育園では行っているところがある。また、防犯体制については小学校などにも言える。

テーマ：学校

- ・資源ごみ回収団体への補助金が今年度からゼロになった。業者の買取価格も安くなっており、当時と比べるとお金にならなくなったが、トイレを直したり、子どもたちにボールの 1 つでも買ったりしてやりたいという思いで続けている。できれば復活してほしい。
- 逆有償などもあり、ほとんどお金にならないことから「やめようか」という意見もあったが、業者によって買取価格が異なるため、他の業者にしたところ、少しはお金になるようになった。

(市長) 広域ごみ処理の枠組からの脱退表明により、ごみの減量化をさらに進めていかななくてはならない。補助金が生きたお金になるなら活用すべきと思う。ただ、教育にかかるお金は市がきちんと対応するべきと思う。

また、環境教育という視点からみると、資源物回収は非常に意義のあることだと思う。

- ・邑久中学校の体育館が古く、屋根が鳴ったり、廊下がべたついたりする。また通学路に危険な場所があったり舗装が壊れていたりして、ケガにはつながっていないが子どもが田んぼに落ちたとか転んだとかいう話も聞く。あと街灯が切れていてもそのままだったり、樹木が茂って影になっていたりするのもある。危ない箇所がいくつかある。安心安全を実現するために早めの対応をしてもらいたい。
- ・小 2 の子がいるが、帰ってくるのに道草しているのも含めて 2 時間かかることがあって不安である。また、通学路に変則十字路があって、危険だと思う。
- ・今城小学校では、親が通学路で気づいたこと（白線が薄くなっているなど）をまとめて学校に伝えている。事故が起こる前に対応をしてもらえればと思う。

(市長) 市が行う点検にも限界がある。点検について保護者の方にも担っていただき、市にお伝えいただければ早めの対応が可能と思う。お互いにできることを協力してやっていきたい。

- ・誇れる中学校にしよう、というスローガンの下、PTA で奉仕活動をしている。「役所に頼らない」「自分でできることは自分たちで」やる必要がある。
- ・小 1 グッドスタート事業で先生が年度の半ばまで 2 人いてくださるのはいいことだと思う。できれば年度末までいてほしい。

(市長) 予算が絡むことなので、よく考えたい。

テーマ：その他学校教育

- ・学童保育について、先生に聞くと場所が狭いなど、不安に思っている。働いているため、学童保育を利用しない場合、子どもが帰って一人での時間があるのは心配なので、学童保育の充実をしてほしい。
- ・邑久の学童保育は活気がある。指導員がよく勉強していることも関係していると思う。保護者も指導員を頼りにしている。

- ・美和小学校では、統廃合の話が数年前にあった。学校がなくなるという噂を聞いて、「戻ってくるのをやめる」という人もいると聞く。学校がないと若い人がいなくなってしまうと思う。学校は残してほしい。

- ・統廃合の話が曖昧なままになっているが、どうするのか。

- ・統合となると土地や建物、制服や歌などはどうするのか、不安がある。

(市長) 学校は小さくてもいいところもある。悪いところをいかに克服するか、そして費用をどうするか、まだ統廃合に関する結論は出ていない。

(総務学務課長) 牛窓の3幼稚園については、全て子どもの数が少ないことから、早めに検討することになっているが、新教育長が就任してから相談して進めていく予定にしているので、来年4月から統合、ということはない。また、小学校については、耐震化の工事を行っており、それが2〜3年かかる見込みなので、その後に統廃合を検討する予定。

- ・牛窓東小学校の耐震化工事を「夏休みに行う」という話だったが、まだ行われていない。早めにやってほしい。

(市長) 耐震化計画について、県の審査を通過することが難しく、遅れている。

(総務学務課長) 先日、審査が通ったので今年度中に取り掛かる予定。

- ・発達障害を持つ子どもについて先生によって対応に差があると聞く。よく勉強されている先生がいれば、他の先生に指導できると思う。専門的な研修が必要。

- ・今城小学校にも障害のある子がいる。学校間の情報交換があるといいと思う。

(市長) 特別支援学校との連携ができればいいが、市内に特別支援学校が無い。地域、学校、保護者との連携が必要になると思う。学校間の情報共有については教育委員会が間に入って行うことができると思う。